

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社ロッテ、株式会社BYD

【サービス名称】

ロッテのノウハウをベースとした総合的な探究学習サービス(株式会社ロッテ)
探究学習を推進するための非認知能力養成講座(株式会社BYD)

【サービスの支援項目】

カテゴリー-I 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月

LOTTE



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

株式会社ロッテ

1. サービスの概要、特徴

ロッテの新商品開発を学校向けに体系化し、社会や職業への関心を高め、生徒の主体性を引き出すプログラムを提供

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・身近なお菓子・アイスを題材にすることで、生徒の主体的な学びを効果的に引き出せる
- ・ロッテ社員が講師として授業を行うため、教員の負担を最小限に抑えつつ、学校単独では難しい新しい視点やアイデアを取り入れた授業を実施

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・生徒の主体性・モチベーション向上
- ・教材作成・授業実施の工数削減、フィードバック業務削減など、教員の業務負担を大幅に軽減

(3) サービスの活用場面：探究学習の授業（総合的な学習の時間）

(4) 1サービスあたりの標準販売価格：税抜10,000円/生徒 ※プログラムに必要な教材費も含まれます

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

1) 新商品開発プログラム

2) ロッテ社員との壁打ち

3) フィードバック

株式会社BYD

1. サービスの概要、特徴

コミュニケーション能力や思考力等をレベル別に合わせた実践形式のワークを行うことで育むサービス。生徒間でのフィードバックやアドバイスができる形式であり、学び合いを深めることが可能です。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・学校のニーズに合わせ、「思考力」「表現力」「テクノロジー活用」「チームワーク」など、カスタマイズした非認知能力向上を実現
- ・人事およびビジネス法MBA、金融のエグゼクティブMBA(EMBA)の専門家など、社会でも第一線に活躍する講師陣が提供

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・生徒の主体性および非認知能力の向上
- ・教材作成・授業実施の工数削減

(3) サービスの活用場面：探究学習の授業(総合的な学習の時間)

(4) 1サービスあたりの標準販売価格：税抜5,250円/生徒 ※プログラムに必要な教材費も含まれます

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

【探究学習推進に向けた非認知能力養成講座】

- ① コミュニケーション講座
- ② ロジカルシンキング講座
- ③ リーダーシップ講座

ニーズはあるものの、実行が難しい社会連携プロジェクトに関するノウハウ・リソースを、ロッテおよびBYDのコンソーシアムによって補完・サポート。

児童生徒・教職員が抱える課題

- 社会連携プロジェクトに関するノウハウ・リソースの欠如
 - 社会課題への企画立案や、実社会との連携を行うためのノウハウが教員に蓄積されておらず、それを実行するための人手や時間も不足
- 指導の難しさと質の属人化
 - 絶対的な正解や定型マニュアルが存在しないため、授業の質が指導者個人の高度な知見や積み上げられた経験に直結してしまい、均質な教育の提供が困難
- 実社会と連携するための企業ネットワークの不足
 - リアルな社会課題に触れるために不可欠な、外部企業や組織とのつながりが学校現場には不足

サービスが果たす役割

- 【ロッテ】
 - 実社会に結び付いたリアルな探究プログラム実施
 - 企業ネットワーク不足の補完
- 【BYD】
 - 生徒の主体性や探究基礎力（論理・協働・表現）の底上げによる授業品質の向上
 - 専門家の直接指導によるノウハウ補完と教員負荷の削減

サービスの活用風景・授業の流れ(例)

【学校の課題】

リアルな企業や自治体を絡めたキャリア探究の授業を実施したいが、学校内リソースではコーディネートができない



【提供サービス】

- **ロッテによる新商品開発プログラムの実施:**
 - 「新商品開発チーム」になったつもりで、4人組を作成。新商品のコンセプト作りやパッケージのデザイン、CMの作成を実際の商品開発にて使われる手法を学びながら実施・プレゼン
- **BYDによる非認知能力向上講座の実施:**
 - プレゼンテーションの基礎となる「掴み」や「共感」の技法をレクチャーし、ペアワークで実践練習
 - 論理的思考力を向上させるために、グループワークで、問題における「原因」や「証拠」を考える取り組みを実施。議論の中でファシリテーターを決めさせ、リーダーとして人の意見を聞き、まとめることを実践



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

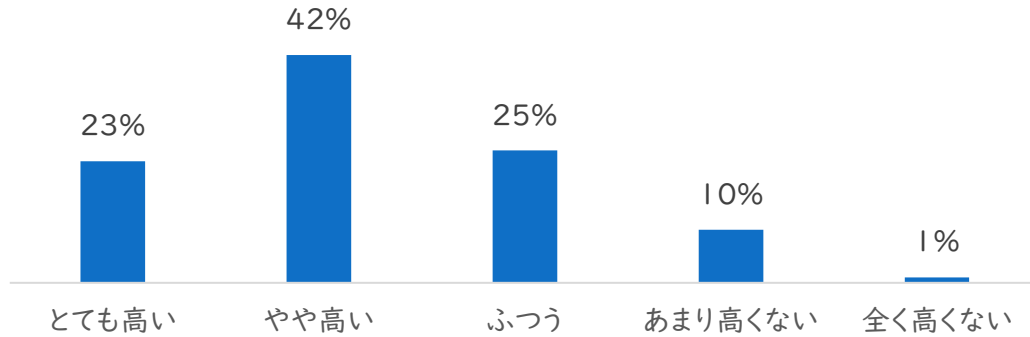
学校設置者数	2	学校等教育機関数	2校
--------	---	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人柳商学園	柳川高等学校	福岡県	高等学校	1-3	新商品開発プログラムの実施、非認知能力向上講座の実施（総合的な探究の時間）
2	学校法人進徳学園	進徳女子高等学校	広島県	高等学校	1-3	新商品開発プログラムの実施、非認知能力向上講座の実施（総合的な探究の時間）

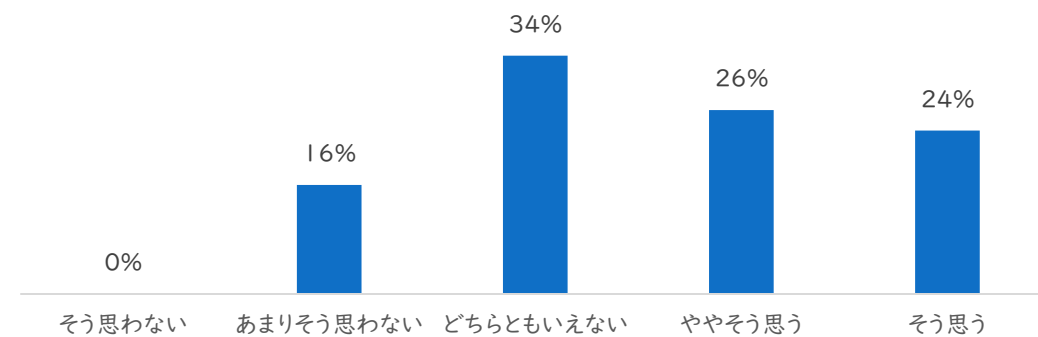
定量的効果検証

導入校生徒向けアンケート(n=102)

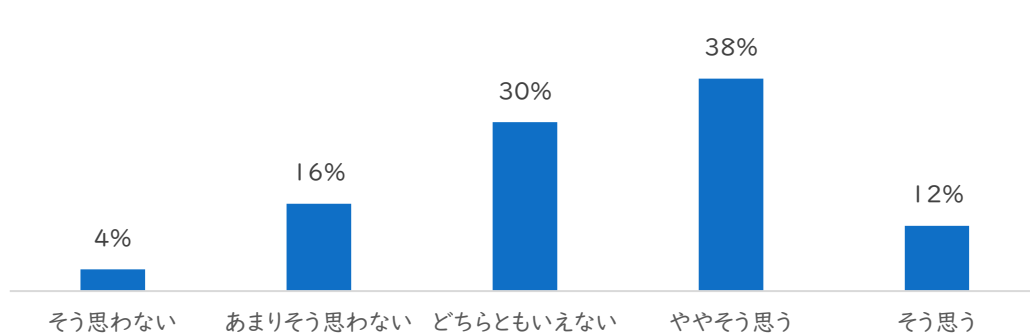
(プログラムを終えて)探究学習へのモチベーションは高いか?



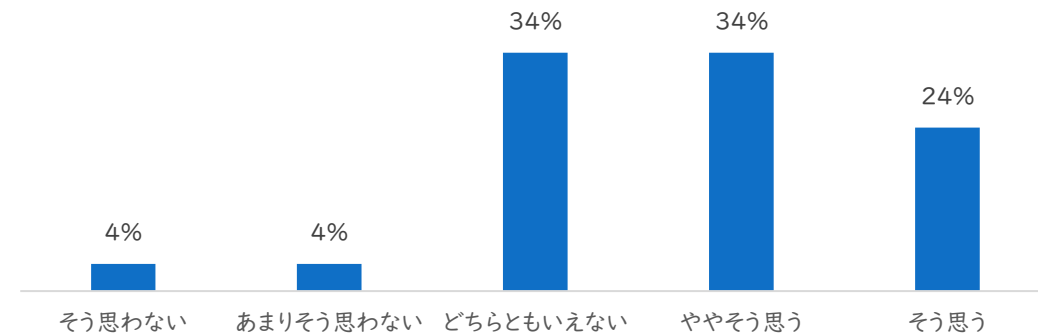
前に踏み出す力(アクション)が高まったと思うか?



考え抜く力(シンキング)が高まったと思うか?



チームで働く力(チームワーク)が高まったと思うか?



新商品開発プログラムの実施後、探究学習へのモチベーションが高いことに加え、非認知能力向上講座を経て、非認知能力の向上を体感。(授業準備~実施にかかる教員負荷も削減※詳細次頁)

定性的効果検証

1. 生徒の主体性・モチベーション向上（探究的な学びの深化）

- 身近な題材（お菓子・アイス）を題材にしていることで、生徒の参画意欲が向上、主体的に取り組みを推進できた（導入校教員コメント）
- 3分間、自分の言葉で発表ができるようになる等、プレゼンテーションへの怖さがなくなり、自信を持って自分の意見を発信できるようになった（導入校教員コメント）
- ディスカッション等における主体性が圧倒的に向上したと感じる（導入校教員コメント）
- ロッテ社員や設定したターゲットへのインタビュー→アウトプット→フィードバックのサイクルを高速で体験することで探究的な学びを推進できた（導入校教員コメント）

2. 協調性・協同性の向上

- まずは相手の意見を否定せず、周りの意見を受け入れた上で、自分の意見を言えるようになる（導入校教員コメント）
- 相手の意見を受け入れる傾聴の姿勢が見られるようになった（導入校教員コメント）

3. 教員の授業準備～実施にかかる負担軽減

- プログラムの立案・企画～実施まで、学校内で不足しているリソースを補完することで、物理的・精神的な業務負荷が削減した（導入校教員コメント）

※教員との振り返りを踏まえて効果取り纏め

コンソーシアムを組むことによる相乗効果

1. 教育コンテンツの多様化

株式会社BYDは教育に特化した企業であり、探究授業のプログラムや教材の開発に強みを持っており、株式会社ロッテは特にマーケティングやブランド力において強みを持っている。コンソーシアム形成により、多様で魅力的な教育コンテンツを提供できる

2. 実践的な学びの提供

株式会社ロッテのビジネス経験や実績に、BYD社のノウハウを掛け合わせることで、学校文脈に沿ったよりリアルな学びの機会を提供できる

- 何かと何かを組み合わせて、全く新しいものを作ることの難しさを感じました。また、プレゼンの難しさも改めて実感しました。マーケティングや3Cなど知らなかったことを色々知れて、とてもためになりました。
- プレゼンも練習を沢山して、上手になっていけたらなと思いました。マーケティングの授業がとても興味深かったので、また聞きたいです。
- 2人組になってお菓子の紹介をするのが楽しかった。また、マーケティングに関する様々な知識やプレゼンに関する知識を得ることができたので将来に活かしていきたい。

生徒一人ひとりの特性や悩み・課題感を踏まえた個別最適な学習の実施にハードルがある。事前ワークの実施や、教科担当の教員とのコミュニケーション促進等を通じて、更なる総合的な教育価値を創出していけると思料

直面した課題

- 課題①: 自己表現力を高める取り組みの中で、生徒一人ひとりの特性や抱えている課題を、十分に理解した上で取り組むことにハードル
- 課題②: 総合的な探究の時間を中心とした取り組みではあったが、教科学習で学んだことを意識して実践することに課題

解決するための改善策

- 改善策①: 事前情報の共有や振り返りの項目を精査し、よりの確なサポートができるように運営体制を強化する
- 改善策②: 教科の先生方とのコミュニケーションを強化。定期的なタッチポイントや教員研修も実施し、学んだことを実践し続ける仕組み構築を支援

社名	株式会社ロッテ
代表	中島英樹
設立年月	1948年6月
本社	東京都新宿区西新宿3-20-1
資本金等	217,000,000円
売上高等	207,902,558,550円
従業員数	2,459名
事業内容	・菓子、アイスクリーム、健康食品、雑貨の製造および販売

■お問い合わせ窓口

社名：株式会社ロッテ

担当：金澤直樹

電話：080-4616-3536

Mail：kanazawa_naoki@lotte.co.jp

社名	株式会社BYD
代表	井上創太
設立年月	2015年1月
本社	東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル2階
資本金等	500万円
売上高等	5,000万円
従業員数	25名（業務委託含む）
事業内容	・学生向けキャリア教育事業全般 ・教育事業のコンサルティング

■お問い合わせ窓口

社名：株式会社BYD

担当：井上創太

電話：080-6564-9880

Mail：byd.hr@b-y-d.co.jp